

## 5.

## 津軽富士『岩木山』



iwki.htm 1999. 9. 24.



【岩木山スカイライン】



【岩木山から 津軽半島を望む】

昨日の雨がうそのような快晴。台風と競争の今回の津軽。

9月24日早朝東京からの夜行バスで弘前着。すぐに岩木山の登山口嶽温泉行のバスに乗換え、嶽温泉に向かう。

今回の津軽 walk の目的 三内丸山縄文遺跡訪問の前に、是非とも津軽の象徴 岩木山に登り、司馬遼太郎の言う『北のまほろば』津軽平野を一望したい。

明日行く、津軽半島西海岸沿いの『縄文の道 十三湖一車カ一亀が岡一木造』をきっちり眼中に収める予定。岩木山は津軽半島の独立峰で、いつも頂上に一筋の雲を巻いているが、今日は展望が効きそうである。



## ● 津軽富士「岩木山」の登山口 嶽温泉よりスカイラインを通過して頂上へ

嶽温泉から岩木山スカイラインで八合目へ。八合目から頂上へ向かって山の南面を登る。距離は短い、直登に近い登りがつづき結構きつい。

山を眺めつつどんどん高度を稼ぎ、展望が効く明るい山道で楽しい。

岩木山の西斜面越しに日本海に突き出た津軽半島の海岸線がくっきり見え、そのむこうには北海道の山も浮かんでいる。

後ろを振り返ると八甲田の連山・世界遺産に登録された白神山地の山々が見える。白神山地は特に緑が濃く、ブナの原生林がどこまでも続いている。すぐそこに見える。一度は是非、行って見たい。



津軽半島眺望



白神山地眺望

岩木山の尾根に出て、急なガレ場の急登をロープの目印を頼りに登ること約1時間登り始めて約3時間足らずでゴツゴツした岩が組み合わさった狭い頂上についた。

天候は晴れているものの雲が巻き、一瞬眺望が効いたと思うとすぐガス。めまぐるしく天候が変化している。



頂上へのガレバ

## ● 頂上 で

大きな岩の上に座って 展望の利くのを待つ。

ほんの一分少々であるが、ガスが切れると眼下に弘前市を中心とした津軽平野が広がる。

その向こうに日本海に突き出た津軽半島が直線的な海岸線のみせ、中央には陸奥湾から恐山が見える。

ぐっと北から右へ身を回すと八甲田の山々から十和田・八幡平の山々が見え、そして緑の非常に濃いブナ林の原生林 白神山地がみえる。ぐるっと 360度の展望だ。



岩木山山麓から津軽半島にいたる広い津軽平野には緑の森に混じって点々と池が見える。この岩木山北山麓は津軽 古代のたたら製鉄の故郷。今は 南側 嶽温泉からの道が岩木山への本道になっているが、昔はむしろ北側からの道が本道であり、鬼の住処 岩木山の鬼伝説が数多く残る。その向こう津軽半島にかけては縄文の遺跡が散らばる木造一亀が岡一十三湖へと続く『縄文の道』の道である。本当にすばらしい景観で、登って良かったと思う一瞬である。



頂上から 津軽平野 遠望

### ● 山麓の岩木高原で 岩木山神社とその街道



また、もときた道を嶽温泉に下り、嶽温泉から岩木山神社まで岩木山を眺めながら山麓の道を歩く。本当によく整備された美しい高原で歩いていて楽しい道である。ちょうど この時期 山麓に広がるりんご畑には真っ赤なリンゴが実り、またとうもろこし畑も収穫の時期。 街道のあちこちにこの地の名産『嶽キミ』を売る店が旗をなびかせている。

りんご畑岩木高原  
嶽キミの直売  
道端の店の親父が  
蒸したのを食べろ  
とくれる。実に甘  
いとうもろこしで、  
good。早速 宅急  
便で家に送った。



後日談ですが、これはヒット。いつも送っても色々言う家族が今度は非常に喜んだ。お勧めです。

嶽キミをほうばりながら、美しい松林のつづく街道を移り変わる山の景色を楽しみながら約 1.5 時間山麓の高原を歩き、岩木山をご神体とする岩木山神社に至った。

岩木山はほんとうにのんびり山歩きが楽しめる山である。

今回は嶽温泉にはいれなかったが、次回は嶽温泉に泊まって白神山地と結んで歩きたい。



岩木山神社

岩木山神社に参拝して 門前の茶店のオバちゃんとしきり昔の話をして弘前へ戻った。明日台風が来るが、十三湖へはどうしても行きたい。五所川原から津軽軽便鉄道で太宰治の故郷「金木」まで行こう。

### ● 津軽軽便鉄道で金木へ



五能線から りんご畑越しに岩木山



津軽軽便鉄道より 津軽半島の山々

弘前から五所川原への五能線沿線には岩木山を背景にリンゴ林が延々とつづいている。夕焼けを背景にレンズ状の厚い雲を頂上に巻いて、また岩木山がまた姿をかえていた。津軽軽便鉄道に乗るのは約 30 年ぶり。かつての袴腰岳などの津軽半島の山々が夕暮れの中でシルエットとして浮かび上がっていた。真っ暗になって 金木②駅に降り立ち、街の小さな温泉宿に泊まる。今日は私ひとりらしい。台風がやってくる。夜半 台風の嵐が吹き荒れている。金木の小さな温泉旅館がぎしぎし揺れてる。夜中中に台風は通過するだろう。台風の音を聞きながら 一人せんべい布団の中 岩木山登山を振り返る。本当に来てよかった。明日は十三湖から亀が森へ行って三内丸山遺跡へ